青森県青少年健全育成審議会臨時部会運営要領

(趣旨)

第1 この要領は、青森県附属機関に関する条例（昭和36年1月青森県条例第14号。以下「条例」という。）に基づき設置された青森県青少年健全育成審議会において、SNS等に起因した青少年の性被害等への対策について検討する臨時部会（以下「部会」という。）の運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(部会の調査審議)

第2 部会は、所掌する調査審議について、必要があると認める場合には次の事項を行うことができる。

- (1) 県教育委員会及び県警察本部に対し、必要な資料等の提供、その他必要な協力を求めること。
- (2) 教職員、児童生徒、保護者、その他関係者に対するヒアリング及び調査等を実施すること。
- (3) 関係者又は専門家に対し、会議への出席を求めて意見若しくは説明を聴くほか、必要な資料の提出その他必要な協力を求めること。
- (4) その他、必要と認めること。

(組織)

第3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によってこれを定める。

2 前項の部会長は、部会の事務を掌理する。

3 第1項の部会長に事故ある時は、部会に属する委員のうちから同項の部会長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

(会議の公開等)

第4 部会の会議は公開する。ただし、部会長又は委員の発議により、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、その一部又は全部を公開しないことができる。

2 第1項の規定は、部会で使用する資料についてもこれを適用する。

(議事録の作成等)

第5 議事録は、次の事項を記載したものを青森県子ども家庭部県民活躍推進課において作成する。

- (1) 会議の日時及び場所
- (2) 出席者の氏名
- (3) 議題

(4) 審議経過

(5) その他必要な事項

2 会議の議事録及び配付資料（以下「議事録等」という。）は公開する。ただし、議事録等を公開することにより、当事者若しくは第三者の権利若しくは利益、又は公共の利益を害するおそれがある場合、その他部会長が正当な理由があると認めた場合においては、その全部又は一部を非公開とすることができる。

3 第4第1項又は第2項の規定により、会議において公開されなかった内容及び資料については、前項と同様の取扱とする。

(守秘義務)

第6 部会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第7 部会の庶務は、青森県こども家庭部県民活躍推進課において処理する。

(その他)

第8 この要領に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が部会に諮って定める。

附 則

この要領は、令和7年1月14日から施行する。